

ポイント 5 県公式LINEの「わが家の避難計画」で情報を受け取りましょう！

- 広島県公式LINEアカウントを友だち追加 & 「わが家の避難計画」を設定して
 - ・ お住まいの地区の避難情報
 - ・ 地震の震度、津波警報
 - ・ 自宅周辺の開設された避難場所 などの情報を確認しましょう。



まずは、県LINE公式アカウントを友だち追加

- 1 スマホのカメラで二次元コードを読み取る
- 2 広島県LINE公式アカウントを友だち追加
- 3 「防災メニュー」をタップ
- 4 「作る」をタップ
- 5 「自宅用」を選択

設定は、簡単3ステップ 画面が動かない場合は、LINEを一度終了して「4 作る」から、やり直してください

- 1 住所入力
- 2 地図で確認
- 3 設問に答える
- 4 設定完了

災害時に、お住まいの地域の避難情報を避難のタイミングでお届けします。地震・津波の情報をお届けして今すべき行動をお知らせします。

ポイント 6 避難するときの注意点

- ・ 危ないと感じたら、雨が降っていなくても、できるだけ明るいうちに安全な場所へ避難しましょう。台風の接近など、災害発生の可能性が高いと思われる場合は、避難情報等が発令される前でも早めに避難しましょう。
- ・ 気象情報や避難情報などをこまめに収集・確認しましょう。
- ・ ハザードマップで色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合は、気象情報や避難情報に注意して、必要に応じて避難しましょう。
- ・ 大雨や台風のとときに、海岸や増水した川や水路、崖や沢に近づくのは危険です。
- ・ 既に災害が発生していたり、予定していた避難場所への移動がかえって危険な状況では、近くの頑丈な建物の上階へ移動したり、屋外に出ることさえ危険な場合は、自宅2階以上の山の反対側・できるだけ離れた部屋等に移動するなど、命を守るための最善の行動をとってください。

風水害から命を守るための

ひろしまマイ・タイムライン チェックシート！



平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害



出典：広島県 地域の砂防情報アーカイブ

はじめに

日本では、季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し大雨を降らしたり、7月から10月にかけて接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高波、高潮などをもたらします。

広島県は、平野が少なく、県土の約7割が山地で、大きな川・小さな川があり、沿岸部では全国でも有数のゼロメートル地帯があるなど、多様な地形を有しているため、川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなど、様々な風水害が発生するおそれがあります。

災害から命を守るためには、一人一人が、災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要です。

風水害から命を守るため、このチェックシートを活用して、日頃から災害に備えておきましょう。

— 学習動画の紹介 — 広島県防災YouTubeChannel

このチェックシートとあわせて、広島県防災YouTubeChannelで動画をみてみましょう！災害の現場にいるような疑似体験ができるVR動画や単元を選んで学習できるeラーニング教材などがあります。



ポイント

1 自宅周辺の災害リスクを確認しましょう！

- ハザードマップで、災害のおそれがある場所かどうか確認しましょう。
- ハザードマップは、災害が起きたときに被害が想定されるエリアなどを示した地図です。
- ハザードマップは、各市町のホームページ、窓口で確認できます。
- 自宅周辺のほか、避難経路になりそうな地域も確認しましょう。

確認方法

お住まいの市町のホームページなど

広島県 各市町のハザードマップのリンク集

国土交通省 ハザードマップポータルサイト

〇〇市 ハザードマップ 検索

チェック！ 自宅に災害のリスクがありますか

土砂災害	洪水	高潮	その他
<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり (浸水の深さ m) <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 内水氾濫のリスク <input type="checkbox"/> ため池災害のリスク

- 安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。自宅で安全確保しましょう。

ポイント

3 避難するタイミングを 決めましょう！

- 警戒レベル③④が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- 警戒レベル③が発令されたら、高齢の人や障害のある人など避難に時間のかかる人や、その支援者が危険な場所から避難、警戒レベル④が発令されたら、危険な場所から全員避難するタイミングです。
- 災害時に避難した人の多くが「まわりの人が避難したから」という理由で行動を起こしています。まずは、あなたから、すみやかに避難をはじめてください。その行動が、たくさんの命を救うことに繋がります。

警戒レベル 避難情報等	状況	住民が とるべき行動	防災気象情報
警戒レベル5 緊急安全確保	既に災害が発生・ 切迫している	命の危険 直ちに安全確保！	レベル5 特別警報

チェック！ いつ避難しますか

警戒レベル4までに必ず避難

警戒レベル4 避難指示	災害のおそれが高い	危険な場所から 全員避難	レベル4 危険警報
警戒レベル3 高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	レベル3 警報
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	レベル2 注意報

ポイント

2 避難先を 日頃から考えておきましょう！

- 避難先は、市町が指定する避難場所だけではありません。
- 市町が指定する避難場所にこだわらず、緊急時に身を寄せられる、親せき・知人宅、ホテル・旅館など、安全な場所にある避難先と避難経路を決めましょう。避難経路が利用できなくなる場合に備えて、2か所以上決めましょう。
- 市町が指定する避難場所はハザードマップで確認できます。災害の種類によって避難する場所が変わることがあります。避難場所がどの災害に対応しているかも確認しましょう。

チェック！ どこに避難しますか

<input type="checkbox"/> 安全な親せきや知人宅	<input type="checkbox"/> ホテル・旅館	<input type="checkbox"/> 学校・公民館など市町が指定する避難場所
土砂災害に対応した避難場所	洪水に対応した避難場所	高潮に対応した避難場所
その他		

ポイント

4 避難するための準備を しましょう！

- 飲料水、食料、簡易トイレ、貴重品など必要なものを用意しましょう。
- リュックなどに入れて、玄関などすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

チェック！ 持ち出すものを用意しておきましょう

<input type="checkbox"/> 飲料水(人数分)	<input type="checkbox"/> 食料(人数分)	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 靴・スリッパ
<input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 防寒具・アルミブランケット	<input type="checkbox"/> ガムテープ・軍手
<input type="checkbox"/> 救急セット・衛生用品	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 常備薬

- 上記は一例です。家族構成や世帯事情に応じて必要なものを準備しておきましょう。(眼鏡・コンタクトレンズ、母子健康手帳、生理用品、お薬手帳、大人用紙パンツ、ペット用品など)

- 電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料、生活用品などを最低3日以上、できれば1週間分備蓄しておきましょう。(自宅で安全確保する方も必要なものを備蓄しましょう)